

はじめに

近年、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展、技術革新等により社会構造は大きく、また急速に変化しており、さらには、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大など、まさに予測困難な時代を迎えようとしている。このような時代において、子どもたちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことで新たな価値につなげていくことが求められている。総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目標にしていることから、これからの時代においてますます重要な役割を果たすものとする。また、学習指導要領の改訂において、探究的な



学習の過程を一層重視し、各教科等で育成する資質・能力を相互に関連付け、実社会・実生活において活用できるものとする。これを基本的な考え方としており、その実現に向けて、探究的な学習における4つのプロセス(課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現)の質的充実が求められている。

さらに、令和3年1月の中央教育審議会の答申では、多様な課題が生じている今日において、各教科等の学びを基盤としつつ、様々な情報を活用しながらそれらを統合し、課題の発見・解決や社会的な価値の創造に結びつけていく資質・能力の育成が求められるとしている。そこで総合的な学習の時間における教科等横断的な学習や探究的な学習の充実を図ることが期待されている。

加えて、本年度から国のGIGAスクール構想のもと、本市においても学校におけるICT機器の環境が整備され、その活用と実践が求められている。ICTや地域人材の効果的な活用、授業のユニバーサルデザイン化を工夫することで児童の学習の理解を深め、教科横断的な学習の領域である生活科や総合的な学習の時間・生活単元学習のさらなる充実を図る。



これまでの積み上げてきた本校ならではの生活科・総合的な学習の時間および生活単元学習の実践を、前述の教育的な背景を踏まえ整理・統合・再構築を図りつつ、以下の主題を設定し、研究の推進を加速させたい。

1. 学校教育目標

～確かな学力・豊かな心・健やかな体を育み、
家庭・地域とともに歩む活気ある学校～

2 研究主題及び研究領域

主体的・協働的に学ぶ子どもの育成
～魅力いっぱい!わたしたちの地域の人・もの・ことを通して～
【研究領域:生活科・総合的な学習の時間・生活単元学習】

3 研究主題設定の理由

○昨年度は、研究主題を「主体的に学び、豊かに表現する子どもの育成」と設定し、外国語科・外国語活動の研究実践を行った。自分自身のことや自分の考えを、身につけた表現を使って伝えようとする主体的な子どもの姿から、外国語科・外国語活動の領域において一定の成果を得ることができた。魅力的かつ、

明確なゴールを設定し、それに伴った単元構想、「話したい」と思える場面設定を行うことが、主体的な学びにつながると実感した。

○昨年度の成果から、研究領域が変わっても、魅力的な探究課題の設定が子どもたちの主体的・協働的な学びにつながると考え、今年度は、研究領域を総合的な学習・生活科に変える。研究主題を「主体的・協働的に学ぶ子どもの育成～魅力いっぱい!わたしたちの地域の人・もの・ことを通して～」とすし、研究の実践を行う。

○多文化共生やインクルーシブの考えを大切にしたい学校風土。商店や駅、文化的、公的な施設、歴史的財産が校区内にある、恵まれた環境。昨年度より、コミュニティ・スクールに指定され、子どもたちの学びをサポートしよう!という地域の思いは大きい。



○こうした本校の特色、強みを活かし、学校や学校をとりまく地域の人・もの・ことを題材とし、自分たちの身近な、魅力ある課題を探究する活動を行う。児童には、自分たちの力で地域をよりよくできるという実感をもたせ、主体的、協働的に学ぶ力を育てていきたい。また、その成果が、亀山中学校区の研修主題である「自他を認め、ともに学び合い、高め合う児童・生徒の育成」にもつながっていくと考える。

○21世紀を生き抜く確かな学力の育成には、ICT機器の活用は不可欠である。個に応じた学びを保証しつつ、協働して学び質を高めていくために、学びの様々な場面でICT機器を活用する。研究初年度である本年度は、年間計画や研究体制を再度練り直し、積極的なICT機器の活用場面を設定する。さらに、継続的・計画的な地域人材・地域資源の活用が図られるよう、研究を進める。



4 研究主題について

(1) 主体的に学ぶとは

本校の研究では、「主体的に学ぶ」とは、「学習へ積極的に取り組むだけでなく、学習後に自らの学びの成果や過程を振り返ることを通して、次の学びに進んで取り組む態度を育む学び」と定義する。子どもたちが主体的に学んでいくためには、課題設定と振り返りが重要になる。実生活や実社会の問題を取り上げ課題とする。加えて、学習活動のゴールとそこに至るまでの道筋を鮮明に描くことができるような課題を設定



する。また、子どもに学びを振り返らせることで、新たな課題を見つけるようにし、次の学習につなげさせる。



(2) 協働的に学ぶとは

「協働的に学ぶ」とは、学級の子どもや異学年、地域人材との学びを通して、他者とともに課題を解決することと定義する。協働して学ぶことは、多様な情報に触れ、異なる見方や考え方に気づき、自己の考えを広げ深めることにつながる。また、地域の人との交流や友だちとの学習により、いろいろな考えを受け入れることができる素地を育てることができる。

5 主な研究内容

(1) 自分・自分の身のまわりや、地域の人・もの・ことなどに関わる、学年に応じた探究課題の設定について
★目標を実現するにふさわしい探究課題の設定

- ①探究的な見方・考え方を働かせて学習することがふさわしい課題であること
- ②展開される学習が、教科横断的・総合的であること
- ③課題を学ぶことにより、自己の生き方を見つめ直すきっかけとなること

(2) 探究的な学習のよさを実感できる課題解決の過程・方法について

- ①課題解決を通してどんな力をつけたいか、どんな子どもの姿をめざすのか、など望ましい児童の成長の姿を明確にする。

★めざす子どもの姿の設定 ★課題解決のゴール設定

(3) 各教科等との関連を明らかにした生活科、総合的な学習の時間・生活単元学習の年間指導計画の実践的検証。本校独自の年間スケジュールの作成について

★横断的な視点と地域人材・地域資源の活用
★年間計画の更新・再構築



(4) 探究的な学習を充実させるための工夫

★「考えるための技法(思考ツール)」の活用
★様々な教育活動でのICT機器の試行的な活用

(5) 各学年のテーマ

学校全体のテーマ:わたしたちと亀山	
1年	「みんななかよし やさしさいっぱい」 【いのち】
2年	「自分についてしらべよう」 【ちいき・いのち】
3年	「亀山のことを調べよう～亀山をもっと知り隊～」 【ちいき】
4年	「防災について考えよう～みんなの命 守り隊」 【防災・キャリア】
5年	「地域ブランドについて考えよう～おいしさいっぱいべにほまれ～」 【食・いのち】
6年	「福祉について考えよう～やさしさいっぱいどけ隊～」 【福祉・いのち】

(6) 各教科等との関連を明らかにした総合的な学習の時間、生活科、生活単元学習の年間指導計画の練り直し

- ①次の表(6年生)にあるように、各教科との関連を明らかにするために、年間指導計画には各教科の単元も配置し、相互の関連を線で結ぶ。また、地域人材や地域資源「ひと・もの・こと」をどのように活かしたかを実践的に書き込むようにし、次年度へ引き継ぐ。
- ②ICT機器の効果的な活用についても、実践例を書き込むことで、活用場面・活用方法の積み上げ、見える化を図る。



6 探究的な学習を深めるための工夫

(1) 探究的な学習とは

問題解決的な学習が発展的に繰り返されていく学習活動のこととする。総合的な学習の時間では、課題の設定 → 情報の収集 → 整理・分析 → まとめ・表現 のような学習過程が考えられる。生活科では、一連の学習活動を「まとまり」として体験活動と表現活動とが繰り返されることが、学びの質を高めていくことにつながる。

探究課題:教師が、探究を通して、子どもにどのような資質・能力を育成したいと考えるかを、学習対象の水準で表現したもの。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間時間
国語	ついで、ついで一つのお話 帰郷道 春の河/小景異情 地域の施設を活用しよう 漢字の形と音・意味 春のいぶき	聞いて、考えを深めよう 漢字の広場① 笑うから楽しい 時計の時間と心の時間 【情報】主張と事例 話し言葉と書き言葉 話し言葉と書き言葉	大昔のくらしとくにの統一 天皇を中心とした政治 貴族が生み出した新しい文化 武蔵の政治の	せんねんまんねん いらばん大事なもの 利用案内を眺もう 熟語の成り立ち 漢字の広場②	やまなし 言葉の変化 秋探し みんなで作るくらし 【情報】	漢字の広場③ 『鳥獣図』を読む 調べた情報の用い 日本文化を	漢字の広場④ 大切にしたい言葉 漢字の広場⑤	詩を朗読しよう 仮名の由来 メディアと人間社会 大切な人と深くつながるために プログラミングで未来を作る	人をひきつける表現 思い出を言葉に	漢字の広場⑥ 海の命			245
社会	憲法と政治のしくみ わたしたちの願いと政治の												70
算数	対称な図形	分数	分数の倍	拡大縮小	円の面積	角柱と円柱の体積	比例のしくみ	順序よく整理して調べよう	データの調べ方を整理しよう				175
理科	自然とともに生きる、わたしたちの地球と環境 ものが燃えるしくみ												90
音楽	歌声をひびかせて心をつなげよう												60
図工	オリエンテーション ここから見ると												60
家庭	生活時間をマネジメント												60
体育	体づくり運動 短距離走・リレー 器械運動 マット運動	ボール型 運動	水泳 クロール 平泳ぎ	表現運動 組体操 ダンス	陸上競技 ハードル	ボール運動 ゴール型	病気の予防						105
道徳	まごさんからの手紙 めくもり 自分を信じて	選手 礼儀 子ども いふるまい のキャンプ	海のゆりかご の旅	世界の から学ぶ 「かっこいい」 手紙 おかし	コスモスの花 6年生の責任 「かっこいい」 の復興 マザー=テレサ	最後の 「かっこいい」 の復興 マザー=テレサ	38歳の 55歳の 「かっこいい」 の復興 マザー=テレサ	「かっこいい」 の復興 マザー=テレサ	日本植物分類 スウィッチ 小川しょう	「ありがとう」の気持ち を伝える 1さいから百さいの			35
外国語活動	This is me. Welcome to Japan. What do you want to watch?												35
総合的な学習の時間	<p>【おとしよりに元気をプレゼント】 (35時間) ○おとしよりが望んでいること、喜ぶことは何か調べてみよう。 ★祖父母 地域の方 ○年をとるってどんなことか知ろう。体験しよう。 ★社会福祉協議会 ★介護士 ★高田短大 ○おとしよりに元気を届ける方法を考えよう。 ○おとしよりに元気をプレゼント。</p> <p>福祉について考えよう～やさしさいっぱい伝え隊～</p> <p>【いのちの尊さを学ぼう】 (5時間) ○いのちの授業 ★助産師さん</p> <p>【発明！便利グッズ！】 (30時間) ○生活の中で不自由はないか聞いてみよう ★祖父母・亀山老健 ○介護用品について調べてみよう ★社会福祉協議会・中野義之さん ○マイクロボットを使って、不自由を解消できる便利グッズを作ろう ○便利グッズ発表会をひらこう</p>											70	
特別活動	始業式・入学式 1年生を迎える会 低・高学年活動	遠足 よりよい人間関係											

令和3年度



研究デザイン



亀山市立亀山西小学校

〒519-0152 三重県亀山市本丸町 585

TEL 0595-82-0139
FAX 0595-82-8720

<http://www.kameyama-mie.ip/kbloq/nishi/>

■■■■■■■■ 教育大綱 基本方針 ■■■■■■■■

未来を拓く子どもたちの豊かな学びの実現

■■■■ 亀山市教育関係職員 研修基本方針 ■■■■

～一人ひとりの児童・生徒が個性を生かしながらかまとも主体的に学ぶために～

- (1) すべての子どもの学ぶ意欲を高め、社会で生きてはたらく「確かな学力」を育てる教育活動をすすめる。
- (2) 教師の授業力向上を追求するとともに、系統的な指導をすすめる。
- (3) 人権を尊重し、なかまとともに、豊かな心と身体をたくわえ、自己肯定感・自己有用感を高める教育活動をすすめる。
- (4) 地域の人材や活動を活用し、地域とともに特色ある教育活動をすすめる。

(3) めざす子どもの姿の設定

①主体的に学ぶ姿

◎主体的に学ぶ姿				
総合的な学習過程	高学年	中学年	生活科の学習過程	低学年
課題の設定	・どうしてかな？ ・どうすればわかるのかな？	・なんだろう。	思いや願いをもつ	・やってみたいな。 ・さわってみたい。 ・しりたいな。
情報の収集	・どんな方法で調べようか。 ・ちがう方法で調べよう。 ・ちがう見方をしてみよう。 ・詳しい人に聞いてみよう。	・聞いてみよう。 ・見に行こう。	活動や体験をする	・つくってみたいな。 ・ききたいな。 ・はなしたいな。
整理・分析	・どの情報が必要か選ぼう。 ・表で整理しよう。 ・(グラフ・シンキングツール) ・ここから分かるのは・・・	・比べてみよう。 ・なかま分けしてみよう。 ・ここから分かるのは・・・	感じる・考える	・たのしいな。 ・わかった。 ・なんてだろう。
まとめ・表現	・どんな方法で ・伝わりやすくするためには	・どんな方法で ・伝わりやすくするためには	表現する・行為する (伝え合う・ふり返る)	・たのしかったな。 ・もってやってみよう。 ・もってききたいな。 ・つぎは、こうしたいな。

②協働的に学ぶ姿

高学年	中学年	低学年
・お互いに見あって、 よりよくしよう。	・友だちと一しょに やってみよう。 ・○○さんはなにを調べたのかな。	・ともだちみたいにしてみよう。

(4) 探究的な学習をより深めるための手立て

「考えるための技法(思考ツール)」<下図参照>やタブレットなどのICT機器を探究の過程で活用するよう計画することで、学習が深まっていく。学年に応じて、活用する力が積みあがっていくようにしたい。

<思考スキルごとの活用例>		
思考スキル	シンキングツール	活用例
比較する	ベン図	人物の比較(国語) 文字や図形の比較(国語・算数・図工) 2つの市や町の比較(社会) ※複数の対象についてある視点から共通点や相違点を明らかにする。
分類する	Yチャート Xチャート	初発の感想(国語) 登場人物の行動分析(国語) 図形の分類(算数) 調査データの整理(社会・総合) ※複数の対象についてある視点から共通点のあるもの同士をまとめる。
多面的に見る 多角的に見る	フィッシュボーン バタフライチャート	討論(国語・社会・総合) 地域のよさについての考えをまとめる(社会・総合) 観察記録を付ける(生活・理科) ※対象のもつ複数の性質に着目したり、対象を異なる複数の角度からとらえる。
関連付ける (広げる)	ウェビング(イメージマップ)	地域学習の後、自分の考えや見方をまとめる。(総合) ※複数の対象がどのような関係にあるかを見つける。ある対象に関係するものを見つけて増やしていく。